

木耐協 マンスリーレポート

2018.3
vol.
231

特集

木耐協調査データ発表

『81・00木造住宅』の耐震性

P02



CONTENTS

| | |
|---------------------|-----|
| 地域防災ステーション活動レポート | P05 |
| News & Topics | P05 |
| 技術向上委員会の技術通信 | P06 |
| 一級建築士が教える風水のツボ | P07 |
| 事務局発!今さら聞けない診断書の読み方 | P08 |
| 資格の花道 | P08 |
| 木耐協メーカー賛助会員様からのご案内 | P09 |
| イベント広場 | P10 |
| 理事長のオススメの一冊 | P11 |
| 事務局通信 | P11 |
| 組合員さんこんにちは! | P12 |

今号の表紙

2018年3月11日で東日本大震災から7年が経過します。津波の甚大な被害を受けた宮城県名取市では、数千基の絵灯籠やキャンドルを飾る追悼セレモニーが開かれます。また、同市では桜の苗木を植えて新たな観光名所を作る「復興桜プロジェクト」が進められています。
(写真は2017年の様子。名取市観光協会提供)



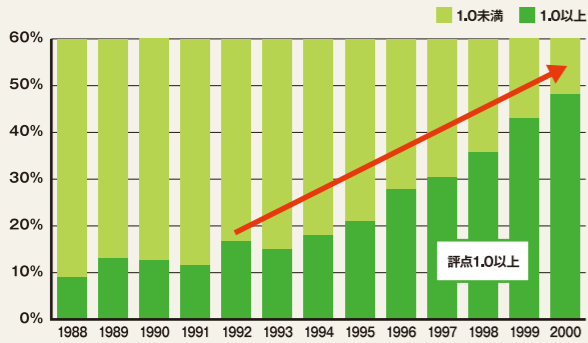
『81-00木造住宅』の耐震性

2018年1月発表

『81-00木造住宅』とは

昭和56(1981)年～平成12(2000)年に建築された在来軸組構法の住宅を、西暦下二桁から『81-00(ハチイチゼロゼロ)木造住宅』と呼ぶこととしました。平成12年6月に建築基準が改正され、接合部や偏心率に関する規定が明文化される前に建築された新耐震住宅です。

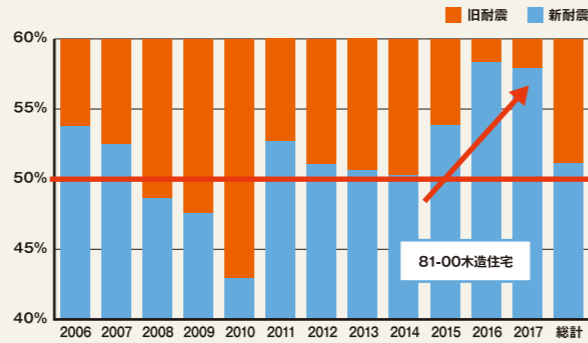
築年数別に見た、耐震性を満たしている割合



■『81-00木造住宅』でも築年数が古いほど耐震性が低下

→『81-00木造住宅』にも耐震改修の必要性あり

診断を実施した住宅の旧耐震と81-00住宅の割合

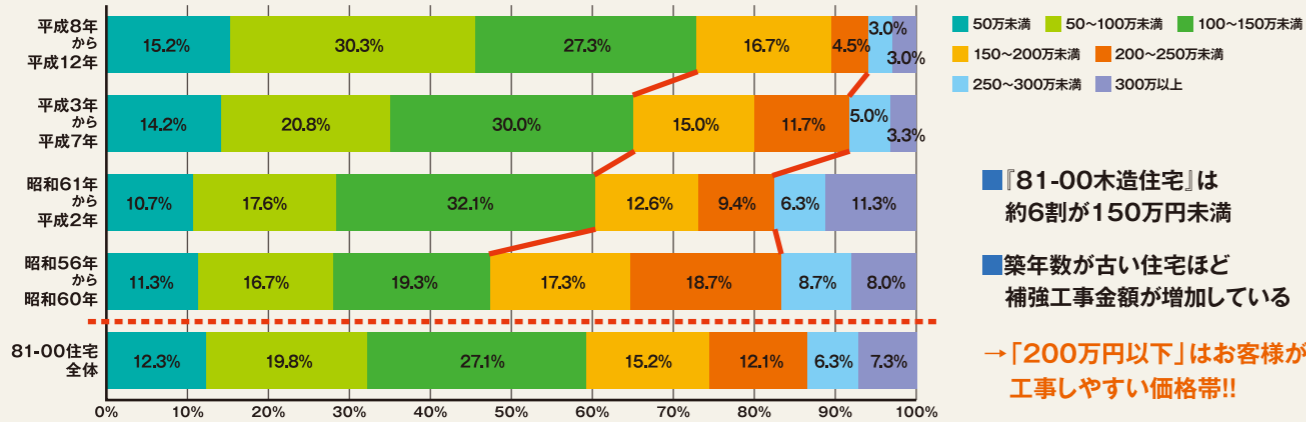


■2011年以後、『81-00木造住宅』が過半数となる

■特に過去3年でその比率が高まり、旧耐震を明らかに上回った

→『81-00木造住宅』に高まる耐震診断のニーズ

年代別 耐震補強工事 実施金額



■『81-00木造住宅』は約6割が150万円未満

■築年数が古い住宅ほど補強工事金額が増加している

→『200万円以下』はお客様が工事しやすい価格帯!!

調査データご活用ください

これまでのデータ例

- 補強工事の9率で「壁補強」実施 (平成27年8月発表)
- 地域別にみる防災意識の差 (平成26年8月発表)
- 耐震基準適合証明書と補強工事費用 (平成26年1月発表)

調査データではこれまでに様々なトピックスを取り上げており、チラシやホームページにご利用いただけます。出典元の明記だけお願ひしておりますので、是非ご利用ください！ご利用方法については事務局へお問い合わせください。

高まる『81-00木造住宅』の耐震診断・改修ニーズ

一般的には「新耐震基準」の木造住宅は耐震性があると考えられています。しかし、平成12年に建築基準が改正されたため、『81-00木造住宅』も耐震診断を行い耐震性の確認をする必要性があります。次のページでは、『81-00木造住宅』を取り巻く環境の変化についてご説明いたします。

木耐協調査データとは

対象住宅

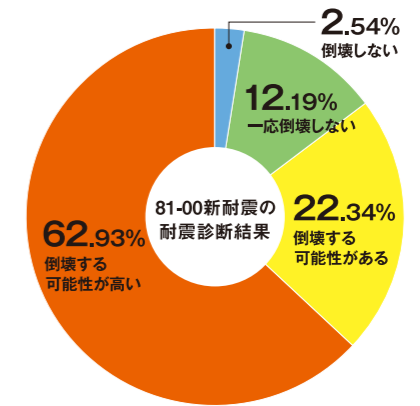
- 「昭和25年～平成12年5月」に着工された「木造在来工法」の木造住宅
- 平屋もしくは2階建て
- 平成18年4月1日～平成29年11月30日の11年7ヶ月に診断した25,918棟

木耐協が住宅所有者から耐震診断の依頼を受けた住宅について、組合員様が行った現地調査に基づき、事務局がその診断結果を集計したものです。対象住宅は左記にまとめています。
耐震性についてまとめた「耐震診断基本データ」は定期報告として毎回発表しています。定期報告に加えて様々な切り口で集計・分析したデータを発表しています。

耐震診断基本データ

| 判定 | 評点 | 全体 | | 旧耐震 | | 81-00新耐震 | |
|------------|-----------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
| | | 棟数 | 割合 | 棟数 | 割合 | 棟数 | 割合 |
| 倒壊しない | 1.5以上 | 363 | 1.40% | 27 | 0.21% | 336 | 2.54% |
| 一応倒壊しない | 1.0～1.5未満 | 1,949 | 7.52% | 333 | 2.63% | 1,616 | 12.19% |
| 倒壊する可能性がある | 0.7～1.0未満 | 4,557 | 17.58% | 1,596 | 12.60% | 2,961 | 22.34% |
| 倒壊する可能性が高い | 0.7未満 | 19,049 | 73.50% | 10,709 | 84.56% | 8,340 | 62.93% |
| | | 25,918 | | 12,665 | | 13,253 | 65.83% |
| 平均補強工事金額 | | 163万3,285円 | | 182万9,944円 | | 149万1,738円 | |
| 平均築年数 | | 36.09年 | | 44.68年 | | 27.88年 | |

- 【全体】9割超の住宅が現行の耐震性を満たさず
- 【新耐震(81-00住宅)】約85%の住宅が現行の耐震性を満たさず
- データを公表する毎に平均築年数が増加し、工事費も増加する傾向



木耐協調査データの見方

- 1.検索サイトで「もくたいきょう」と検索
<http://www.mokutaiikyo.com/>へアクセス
- 2.トップページから少し下へスクロールし、右画像の赤囲みをクリックするとご覧いただけます



特集

『81-00木造住宅』の耐震性 木耐協調査データ発表

木耐協ではご依頼いただいた耐震診断の結果や、診断依頼者のアンケートなどを集計し「木耐協調査データ」としてプレスリリースを行っています。これまで多くのテレビや専門誌で取り上げられています。今回は1年半ぶりに発表した、2018年1月の最新データをご紹介します。

木耐協調査データ発表

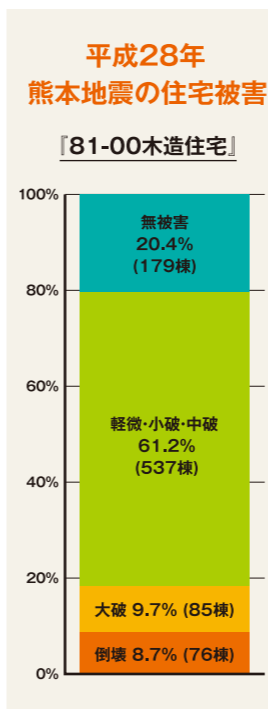
木耐協が考えるこれからの耐震改修市場

新耐震木造住宅
検証法ツール



▲国土交通省から木耐協への
通知書やリーフレットといっ
たツールを組合員専用ホー
ムページにてPDFで公開し
ています。ぜひご覧ください。

なぜ今『81-00木造住宅』に注目するのか？



『81・00木造住宅』も倒壊・大破した熊本地震

平成28年4月に発生した熊本地震では、昭和56年以前に建築された「旧耐震基準」の住宅だけではなく「81・00木造住宅」も倒壊・大破等の甚大な被害が見られました。

国土交通省が行った調査では「81・00木造住宅」の倒壊原因として、平成12年5月に改正された「接合部等の規定」に適合していない年代であった点が指摘されています。つまり、接合部が現行基準でなかった事が倒壊要因のひとつだったといわれています。

熊本地震の被害から生まれた「検証法」

こうした熊本地震の被害を受け、国土交通省の依頼を受けた(社)日本建築防災協会が平成29年5月16日に「新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法」(以下、検証法)を公表しました。検証法では、リフォーム等の機会などをとらえ、接合部の状況を確認することが推奨されています。また、検証法を周知してほしいという通知が国土交通省から木耐協へ送られました。

※検証法の詳細は「スリーレポート」2017年7月号をご覧ください

これからの耐震改修のメインターゲットは『81-00木造住宅』

『81-00木造住宅』に対して耐震診断・改修の補助金のある自治体

■平成29年度導入済みの自治体
千葉県千葉市・市原市、大阪市、和歌山県、鳥取県、徳島県など

■平成30年度新たに導入決定
東京都杉並区(最大100万円)

次はどこ自治体が続くか。
要チェックです!

築37年を越える旧耐震については建替えも含めた耐震提案を行い、『81・00木造住宅』については検証法を活用し積極的に耐震提案を進めていきたいと思います。『81・00木造住宅』は築18〜37年でリフォーム適齢期の年代と重なります。該当する年代のOB様や住宅所有者からのリフォーム相談時には、まず検証法の事を伝え耐震診断・改修を提案しましょう。

『81・00木造住宅』も耐震の補助金対象となる自治体が増加

また、国土交通省は検証法を受けて、自治体に『81・00木造住宅』に対する補助金についても申請があれば応じる旨が案内されています。その動きを受けて、東京都で初となる補助金が杉並区で平成30年度から始まることになりました。活動地域の自治体の状況は必ず確認しましょう。

- 1.平成30年度の耐震診断・改修に関する補助金は必ず確認!
- 2.『81-00木造住宅』所有者には検証法を活用し耐震の提案をしましょう!

地域防災ステーション 活動レポート | 太豊建設様 意見交換会



▲本社近くのショールーム



▶太豊建設 岡井徹博社長
「OBもOB以外も同じようにお付き合いしている」

2 018年1月19日(金)、全国大会の翌日の午前中に、地域防災ステーションとして初めてのイベントである「意見交換会」を、地域防災ステーションの推奨パッケージを導入された組合員様限定イベントとして開催しました。

開催場所は品川区豊町を中心に地域密着で活動されている「太豊建設株式会社様」。遠くは福岡県からも会場いただき、17名の組合員様と事務局員が押しかけたにも関わらず、快くお引き受けくださいました。



▲スペースデザイン研究所 丹羽啓勝社長
「地域で長く商売している事が地域密着ではない」



▲小野理事長も参加



▲参加者は熱心に聴講されています

当日は、昨年の宿泊研修会で講演いただいた「スペース・デザイン研究所 丹羽啓勝社長」にお話いただいた後、「太豊建設 岡井徹博社長」から具体的な地域密着の活動内容やそこに至るまでのポイントなどをお話いただきました。

参加された組合員様からは、「アフターフォローはどのように行っているのか?」「Sona等」のチラシ配布枚数はどの程度が良いか?」など、様々な質問をいただき、あつという間の2時間となりました。

徐々に広がりを見せている「地域防災ステーション」の活動。ぜひ皆さんも、防災を通じて地域密着を進めて、地域での認知度を向上しましょう。

News & Topics

内閣府「防災に関する世論調査」耐震診断実施せず過半数

内閣府は1月27日に「防災に関する世論調査」を発表しました(対象18歳以上3000人。有効回答1839人)。災害では自分の身を自分で守る「自助」に重点を置くべきだと答えた人が39.8%で最多となり、平成25年の前回調査より18.1ポイント増えました。

しかし、住宅の耐震診断を「実施していない」という人が51.5%と過半数を超える結果となりました。「自助」の前提となる住宅の耐震性向上のため、今後お客様へ耐震診断をご案内しましょう。

国 住宅耐震化に100万円新助成制度創設

国は、昨年12月15日に住宅耐震化の推進を目的に設計から改修工事までの一連の費用を100万円一括補助する新制度を創設する方針を固めました。工程ごとに補助申請が必要な現行の手続きを簡素化します。対象は1981年以前の旧耐震基準の住宅。戸別訪問して改修を求めるなど、耐震化に積極的な市区町村に適用し、それ以外の自治体は現行の支援制度を継続します。

すでに静岡県等では、新制度に呼応した準備をはじめていきます。関連情報に注目していきましょう。

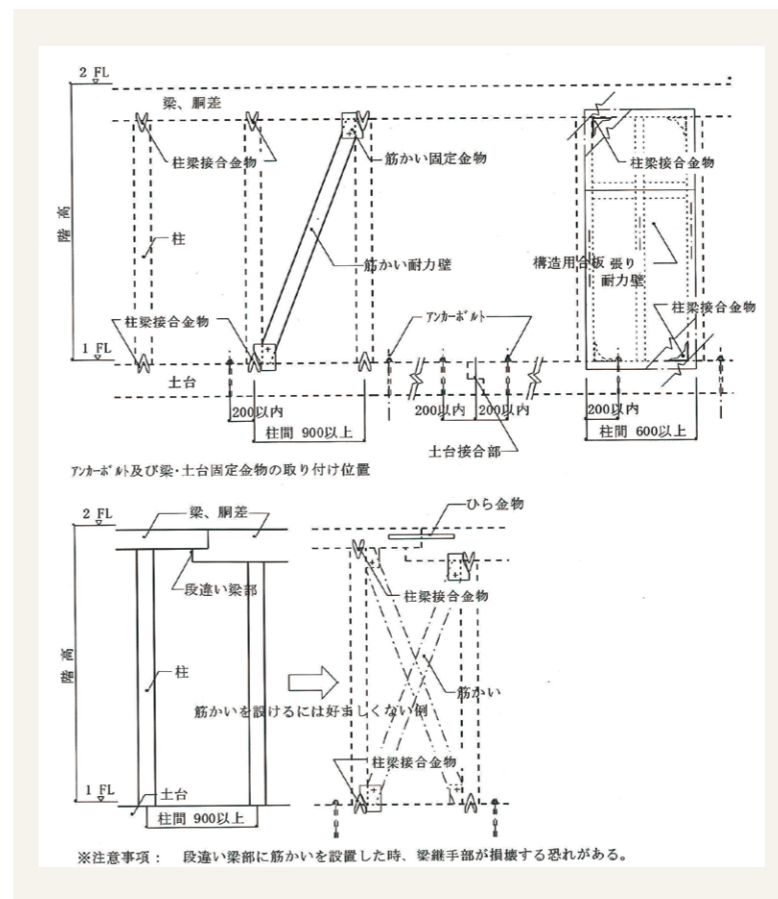
このコーナーでは、木耐協事務局に寄せられる様々な相談や質問に対して実際に回答した事例や、技術的な根拠となる資料について、技術向上委員会にて議論を重ね、組合員様にとって有益な情報を厳選し、ご紹介します。

今月のテーマ
アンカーボルトの
設置基準について

Q 耐力壁に設けるアンカーボルトの目的・効果・設置基準について教えてください。

- A
1. 耐力壁柱脚部を金物補強し、耐力壁の強度を確保する。
 2. アンカーボルトを正しい位置(柱と土台を接合する金物が取り付け箇所は必ず柱の200mm程度内外)に配置し、上屋が基礎上を水平移動したり、基礎から浮き上がらないようにする。
 3. アンカーボルトを配置し、耐力壁(筋かい、構造用合板など)が浮き上がり転倒しないようにする。

※施工方法の注意事項については「木造住宅の耐震補強の実務」P51にてご確認ください



今回は耐力壁に設けるアンカーボルトの設置基準について解説します。設置場所としては「1」耐力壁の下部(ホールダウン金物がある場合は省略可)、「2」土台の継手・仕口箇所に必要となります。

耐震補強工事では壁基準耐力の大きい(強い)耐力壁が配置されるため、

土台が浮き上がりやすくなるので注意が必要です。今回は、「(財)日本建築防災協会」の『木造住宅の耐震補強の実務』に例示されている事例をご紹介します。



第5回

年回りに悩む
お施主様の背中を
押す方法とは

「年回り」が悪いと、地鎮祭が延期に...

事の発端は、お施主様の奥様と最近新築に引っ越したばかりのママ友との会話でした。「家を建てる前年回りや厄年を調べてから建てないと良くないわよ」と言われたことが引っかけた奥様。ネットで様々なサイトを調べ、「着工を延期した方がよい」との言葉をみて以来、不安で仕方なくなり、地鎮祭・着工を控えたご主人も少々呆れ気味のご様子でした。工事業者の社長としては、お施主様の不安な気持ちを無視して工事を進める訳にもいきません。「地鎮祭が延期になりかけていて困っている。何とかできないか」という相談があり、社長と一緒にお施主様のお宅へ伺うことになりました。

「年回りがよくない時は延期した引越方法とタイミングで「マイナスをプラスへ」転換

方がいいのでしょうか」と、開口一番、奥様から疑問をぶつけられました。私からはまず「風水では、年回りはタイミングの影響だけで、住んでいる人が不幸になるという考え方はしませんのでご安心ください」と伝



えました。「風水でも方位とタイミングを大事にしますが、個人を見るのではなく、土地・方位・間取り・周辺環境など、環境が人に良い影響を与えるタイミングを大切に、それぞれのプラス作用・マイナス

「日取り選びの不安による着工延期」や「家相によるプラン変更」など、工務店、建築関係者のお困り事を解決するための風水を、実例など交えながら紹介します。

作用の影響を総合的にみていきます」と説明しました。

以前のコラムでもご紹介したように「マイナスをプラスへ」という柔軟性をもった風水の対策をアドバイスし、さらに、プラス作用に転じる、吉方位を活かした引越方法とタイミングをご提案したことで、奥様もようやく安心されました。無事、延期されていた地鎮祭を進める運びとなり、社長もほっと胸をなでおろされていました。

風水は周辺環境や自然の法則(働きかけ)から人への影響を読み解くものです。「プラスに働きかけるにはどうするか?」の視点で対策を講じていきます。住む人のタイミングだけを重視するのではなく、様々な環境要素を整えていくという考え方が重要です。

今回は「知っているとお客様からの信頼度がグッと上がる風水ネタ話」をお話しします。

仕事の幅が広がる風水

柔軟な風水対策の提案力が身につく資格講座

風水講座 & 説明会開催 (東京・京都・福岡)

無料 2018

第1部(60分)
建築における風水の活用講座。
第2部(30分)
講座の具体的な内容説明、質疑応答。



詳しくはHPをご覧ください

http://fusui-kk.jp/kouza6ki/

本連載に関するお問い合わせはこちら



一般社団法人
日本風水建築協会
理事長 井上 馨一郎
Tel : 092-718-3232
Fax : 092-718-3233
URL : http://fusui-kk.jp/

技術向上委員会 | 中西淳治氏

(株)デザオ建設 リフォーム事業部 山科店店長。一級建築士、愛犬家住宅コーディネーター。「意志あるところに道は開ける!」をモットーに、リフォーム全般の仕事に携わるだけでなく、愛犬家として様々なイベントにも活発に参加されています。

→ 技術的なご相談はこちらへ!

mail jimukyoku@mokutaikyo.com

☎ 03-6261-2040 (木耐協事務局)

リショップナビ

月間反響数3,300件! 新規加盟キャンペーンのご案内

リショップナビとは?

リフォームを希望されている個人のお客様を、インターネットを中心に集客し加盟店となつていただいている、リフォーム会社様・工務店様にご紹介しているサービスです。現在、全国で1,200社以上の加盟店様にご賛同いただいております。

木耐協様経由の加盟店様の声

千葉県A社様 (2017年4月加盟)
一ヶ月の成約率が、30%を超えた月もありました。追客といった営業努力も必要ですが、**総じてコストは良い**と思います。

岐阜県B社様 (2016年9月加盟)
総合サイトの為、価格以外にも加盟店の対応を見てしっかり比較する顧客が多いという印象があります。**自社の強みをそのまま提案できるため有難い。**

point 1

高い成約率

高い成約率の秘訣は次の二つです (連絡が取れた顧客のみをご紹介します)

- ①実名限定ムダの少ない集客
- ②弊社専任スタッフから顧客への事前詳細ヒアリング

point 2

成果報酬無料

成約手数料は頂いておりません。また紹介後は加盟店様のお客様として**クロスセルや追加工事の提案・受注も無料**でご自由に行っていただけます。

point 3

柔軟な設定可能

ご紹介させていただく**エリアやリフォーム内容などを柔軟に設定することができます**。直近の工事スケジュールや人手の問題に合わせて、無理なく続けていただけます。

木耐協様限定、特別価格実施中! (締切: 2018年3月31日)

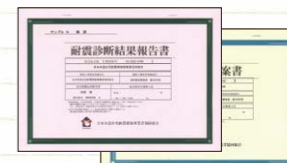
TEL: 03-5510-8015(代表) FAX: 03-5510-8016 メールアドレス: sales-reshop@iacc.co.jp
運営会社: 株式会社アイアンドシー・クルーズ
〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16 日本生命新橋ビル5F

Question ?

事務局発!今さら聞けない診断書の読み方!【第15回】

このコーナーでは、木耐協事務局が発行している耐震診断書(診断ソフト「木耐博士N」)の読み解き方や説明する際のポイントを挙げながら、解説します。

※参照ページは書籍「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法(解説編・資料編)」をご覧ください



診断書サンプルのデータを組合員専用ホームページに公開中です。合わせてご確認ください!

今月のテーマ

保有する耐力7 無開口壁の耐力Qwの算定条件

参照:解説P32

→ 「柱接合部による接合低減」は表から読み取ります。

表② 2階建ての1階、3階建ての1階、3階建ての2階

| 壁基準耐力 (kN/m) | 3.0 | | |
|--------------|-------|------|-------|
| | 基礎の仕様 | 基礎 | 基礎 |
| 接合部の仕様 | | 基礎 I | 基礎 II |
| 接合部 I | 1.0 | 0.9 | 0.8 |
| 接合部 II | 1.0 | 0.9 | 0.8 |
| 接合部 III | 0.8 | 0.8 | 0.8 |
| 接合部 IV | 0.8 | 0.8 | 0.8 |

■該当する柱が「2階建ての1階」の柱の場合、解説編 P32 表3.3の②の表を確認します。(第14回参照)

■その表で壁基準耐力(3.0)、基礎仕様(II)、接合部仕様(IV)という3つの要素が重なる箇所が、その柱の低減係数となります。各要素が()内の値及び仕様だった場合、「0.8」となります。

今回は柱接合部による接合低減Kj Part3について解説します。

本連載に関するご質問・ご相談はこちらへ!⇒ mail.jimukyoku@mokutaikyo.com ☎03-6261-2040(木耐協事務局)

資格の花道

第38回

リフォーム提案にも活用できる資格をご紹介します!!

『劣化対策アドバイザー(防腐・防蟻措置)』

住宅の長寿命化のための
木材劣化対策に!!

木材劣化を中心に建築物の耐久性における正しい知識を習得できる資格

日本は欧米諸国に比べ、住宅の寿命が短いと言われてますが、近年、日本でも長期にわたって住み続ける動きが定着してきました。住宅の長寿命化のため、構造躯体で使う木材を劣化から守る必要があります。劣化には、木材腐朽菌やシロアリなどの食害などの原因があります。劣化対策には施工だけでなく管理も含み、対策を行うことで耐震性や、「断熱・気密」等の快適性の向上にもつながります。劣化対策アドバイザーは、木材劣化を中心に建築物の耐久性における正しい知識を習得できる資格です。



理事 浅葉健介様

当資格を取得すると、高耐久性住宅を実現するために木材劣化の観点で対策、提案できるようになります。また、1級ホウ酸施工士との協業により外来種アメリカカンザイシロアリ保証を付保できるようになります。

| data | |
|------|---|
| 受験資格 | JBTA賛助会員(入会金・年会費無料)の工務店・設計事務所スタッフ |
| 研修費用 | 東京、大阪、名古屋、博多等主要都市にて定期的に講習・認定試験を実施 受講料5000円(税別) |
| その他 | 2年更新 |

●管理団体 一般社団法人 日本ホウ酸処理協会(JBTA) HP <https://housan.jp/> ☎03-6659-5785



明治維新から150年
その意義を問い直す

『維新の肖像』
著者／安部龍太郎
発行／角川文庫
価格／760円(税別)

150年を経て、「明治維新」という出来事の総括と再評価が行われるのかもしれませんが、

Book

『維新の肖像』

今号の理事長オススメはこの作家！

この本は、誰もが近代化への大きな一歩と肯定的に捉えて来た「維新」という出来事について、その「意義」を改めて問い直した作品です。

直木賞作家の新しい試みにも注目が集まっています。それは、歴史小説には珍しく二つの時代の戦争が同時進行の形で進んでいくことです。一つは明治維新の年、戊辰戦争に於ける福島二本松藩の下級武士(朝川正澄)達の新政府軍との戦いと、その渦中の東北列藩の葛藤と奥羽列藩同盟に至るまでの経緯。そしてもう一つは、日本が軍国主義化への一途を辿るばかりの昭和初期の時代、アメリカのイェール大学で准教授を勤める朝川貴一(正澄の長男)が外国人感情と戦いながら、父が残した膨大な資料を基に「明治維新」の意義の

小説化に挑むという内容です。この頃(昭和7年)のアメリカをはじめとした欧米諸国では、日本が満州や中国へ一方的に覇権を伸張する事に対する嫌悪感が広がっており、アメリカにいる邦人は様々な嫌がらせを受けます。その後の、国土を焦土化された日本の敗戦という悲惨な歴史を知っている我々は、この二つの時代の在りよう(軍部や国民の奢りや昂ぶり)こそが戦争拡大と敗戦の原因だと感じてしまいます。

しかし、物事の評価は時代によって変わるのには周知の事実です。例えば新撰組は、明治から戦前は「最悪の殺人集団」というイメージを新政府に植え付けられましたが、戦後に子母澤寛や司馬遼太郎らの著作でイメージを一新し、今では個々の隊士に熱烈な女性ファンがいる事実に驚かされます。

150年を経て、「明治維新」という出来事の総括と再評価が行われるのかもしれませんが、



Event

木耐協イベント広場

木耐協イベント参加者の声!



林 修先生の話で「思っているほど言葉は伝わらない」「聞いてもらえる関係を作ることが大事」とありました。今後、組合員としてお客様へ耐震について伝える為に大事なことだと感じます。昨年加盟で初参加の大会でしたが大変勉強になりました。

剛工務店
生形 剛様



人に伝える難しさを改めて教わりました。私たち建設業ではつい専門用語を使うことが多く、伝わっていないつもりでした。「知識の欠如、立場の違い、志の欠如」を再認識して、相手の立場に配慮した会社経営・家族経営をしたいと気持ち新たにしました。

イービー企画開発株式会社
阿部常夫様



林 修先生の講演も面白かったですし、宮澤先生のお話も直下率の重要性を再認識できてよかったです。何より、昔からの仲間と過ごす時間は愉快で最高でした。

大建建設株式会社
吉信秀樹様



改めて耐震の重要性を確認したのに加え、時代背景を基に新たにインスペクション制度が始まるので、益々わたしたちの出番が広がると確信しました。知識・技術の向上に努めます。

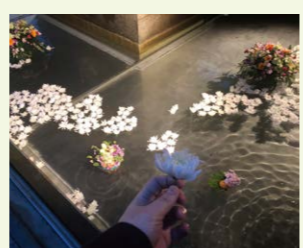
株式会社白石建築事務所
白石 剛様

事務局通信

●編集後記●
1月22日(月)に関東に降った大雪で、自宅の周りも20cmほど積もりました。慣れない雪かきは大変だったのですが、作業中にご近所さんと会話をしたり、スコップの貸し借りをするなど交流がありました。寒い中での雪かきでしたが、少し心が温まりました。(伊藤)

阪神・淡路大震災から23年 追悼集会にスタッフが今年も参加

2018年1月17日、冷たい雨が降る中、神戸市役所協の東遊園地公園で「阪神・淡路大震災1.17のつどい」が開催され、今年も木耐協大阪事務局スタッフが参加しました。震災で家族や身近な方を亡くされた遺族の悔しさ、苦しみや悲しみは、23年経過しても癒えるものではありません。住宅に関わる事業者として、家屋を倒壊させない事を使命に、耐震診断・耐震補強を進めていきましょう。



パッケージ導入組合員限定 地域防災ステーションのメールマガジンをスタート

地域防災ステーションの木耐協推奨パッケージを導入いただいた組合員様向けに、新たなコンテンツとして、毎月3回(10日、20日、30日)のメールマガジン『ちぼステメール』をスタートしました。導入会社様の事例報告や、知っておきたい防災情報等を幅広くお届けしています。

発行●国土交通大臣認可法人 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合
発行人●小野秀男 編集●関 励介、伊藤健三、渥美寿子
所 在●東京都千代田区麹町2-12-1グランアクス麹町7F tel 03・6261・2040 fax 03・6261・2041

| | 開催日 | エリア | イベント名 | 時間 | 会場 |
|----|-------|-----|--------------|-------------|---------------|
| 3月 | 6(火) | 埼玉 | 耐震事業現地研修会 | 10:00~17:00 | 木耐協埼玉研修所 |
| | 14(水) | 東京 | 耐震診断・補強設計研修会 | 13:00~17:00 | 木耐協半蔵門事務所 |
| | 22(木) | 東京 | 第20期通常総会 | 13:30~16:30 | 貸会議室プラザ 八重洲北口 |
| 4月 | 4(水) | 東京 | 技術向上委員会 | 13:30~16:30 | 木耐協半蔵門事務所 |
| | 5(木) | 大阪 | リフォーム基本研修会 | 10:00~12:00 | NLCセントラルビル |
| | | 大阪 | 導入研修会 | 13:00~16:30 | NLCセントラルビル |
| | 10(火) | 東京 | リフォーム基本研修会 | 10:00~12:00 | 木耐協半蔵門事務所 |
| | | 東京 | 導入研修会 | 13:00~16:30 | 木耐協半蔵門事務所 |
| | 11(水) | 東京 | 倫理向上委員会 | 15:00~17:00 | 木耐協半蔵門事務所 |
| 5月 | 12(木) | 福岡 | リフォーム基本研修会 | 10:00~12:00 | 博多バスターミナル |
| | | 福岡 | 導入研修会 | 13:00~16:30 | 博多バスターミナル |
| | 13(金) | 福岡 | 耐震技術認定者講習会 | 10:00~17:40 | 博多バスターミナル |
| | 19(木) | 大阪 | 耐震診断・補強設計研修会 | 13:00~17:00 | NLCセントラルビル |
| | 24(火) | 東京 | 耐震診断・補強設計研修会 | 13:00~17:00 | 木耐協半蔵門事務所 |
| 5月 | 15(火) | 埼玉 | 耐震事業現地研修会 | 10:00~17:00 | 木耐協埼玉研修所 |
| | 17(木) | 大阪 | 耐震技術認定者講習会 | 10:00~17:40 | 新大阪丸ビル別館 |
| | 22(火) | 東京 | 耐震技術認定者講習会 | 10:00~17:40 | 損保会館 |
| | 24(木) | 福岡 | 耐震診断・補強設計研修会 | 13:00~17:00 | 博多バスターミナル |

※諸般の事情により、イベントは中止となる場合がございますので、予めご了承ください。※お申込み多数の場合、やむを得ず参加をお断りする場合がございます。お早めにお申込みください。※各イベントの概要や詳細については、お気軽に木耐協事務局へお問い合わせください。



▲社屋外観



▲事務所に設置した防災パッケージ

**組合員さん
～事務局員がおじゃまします～
こんにちは!**

有限会社 石井工務店様
(東京都府中市)



▼配布されている自社紹介のチラシ

▼『くらやみ祭り』の様子



石井社長は地域の方々との交流を深めるため、浅間神社の正月準備・文化センター祭り・浅間神社例大祭など、地域のイベントやお祭りには積極的に参加されています。

とりわけ毎年5月に行われる大國魂(おおくにたま)神社の例

**祭りを通じて
地域住民と交流**

石井工務店様は、1975年の創業から43年目を迎える地域密着型の工務店です。「健康」・「省エネ」・「耐震」・「耐久」という4つのテーマを軸に、お客様の未来と幸せを築く家を追及されています。

木耐協には2007年に加盟され、これまで数多くの耐震診断・補強工事を行われてきました。

**地域密着戦略としての
『地域防災ステーション』**

大祭である『くらやみ祭り』は、みこしや大太鼓、山車の巡業などで大変盛り上がりがあります。「地域が一体となる、年に1回の大きな祭りなので、今年も5月が楽しみです。」とおっしゃっています。

「もつと地域への貢献度・知名度を高めていきたい」という石井社長の想いから、昨年6月に『地域防災ステーション』のパッケージを導入されました。

消費者向け防災情報誌『ソナエ』に、社長のプロフィールや写真を載せた自社紹介チラシを挟み込み、自社から半径500m内に2000部を毎月配布。チラシには耐震診断、リノベーションといった工事メニューも掲載されています。

石井社長からの一言

弊社の企業目的は『匠の技で安心・安全な住宅を提供』です。10年後、20年後の未来の幸せを実現するパートナーとして、これからもお客様の事を第一に考え、お施主様とご家族を守るお城を築いてまいります。



『ソナエ』をご覧になった方からお問い合わせがあり、新たなお客様との出会いにつながっています。そこから既にリフォーム工事も受注されており、今後も精力的に防災ステーションの活動を行ってくださるものと期待しています。

石井社長の笑顔からはお客様と地域への深い優しさを感じます。反響のあった地域防災ステーションのご活動含めて、私がこれからも全力でサポートさせていただきます!

(事務局員 / 高橋広貴)

